



伊勢崎市立あずま中学校
学校通信 NO.196
令和2年6月19日(金)



新しい生活様式・・・学校生活は感染防止対策をしつつ

6月15日(月)から、一斉登校で午後まで授業を行い、給食も通常メニューで提供されるようになりました。部活動もようやく始まり、形の上では、臨時休業前の、いつも通りの学校生活が戻ってきました。しかし、全てが元通りというわけではありません。新型コロナウイルス感染防止のため、いろいろな対策をしながらの毎日。若干の不自由さを感じることもありますが、生徒たちは元気に学校生活を送っています。



校舎内には、スローガンを「AZM」に当てはめた、こんな掲示ができました。



給食は、相変わらず前を向いたまま私語をせずに食べています。

授業では、例えば英語は、マスクをしたままの発音・音読練習で、対話練習もお互い向かい合わず正面を向いたままのコミュニケーションを試みています。



図書室では、入り口と出口を分けるなどして一方通行の流れを作り、ソーシャルディスタンスを呼びかける目印も設置されました。



昼休みは、前にも増して校庭で体を動かす生徒の姿が見られます。



5校時の予鈴が鳴る前に、保健委員が手洗い・うがい・水分補給の呼びかけを放送で行っています。生徒はそそくさと校舎内へ。



実は、この放送が流れると同時にそれより早く、ほとんどの生徒が自主的に校舎内へ移動しており、予鈴が鳴る頃には校庭には全く生徒の姿が見られません。とても素晴らしいことです。

放課後には、生徒が使った様々な部分の消毒を、教職員が行っています。

これから暑くなりますので、感染症と合わせて熱中症にも十分に注意しながら、学習や運動、部活動に取り組んでいきましょう。



待望の部活動が再開



運動部も文化部もそれぞれに、他の生徒との間隔を保つように注意したり、練習内容を工夫したりしながら、一生懸命に取り組んでいます。

(スペースの関係で、全ての部活動を紹介することができません。ご了承下さい。)

